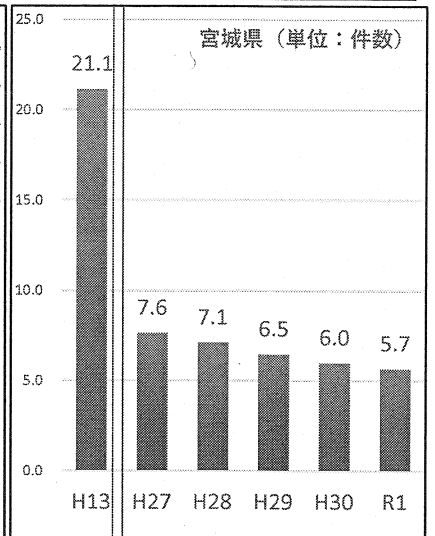
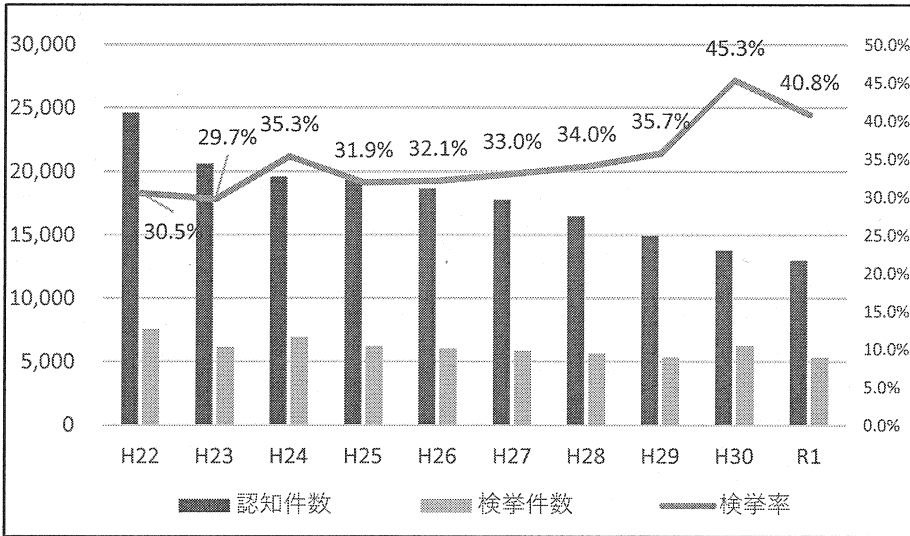


本県における犯罪情勢について

資料 3

刑法犯認知件数の推移（宮城県）

人口千人当たり発生件数

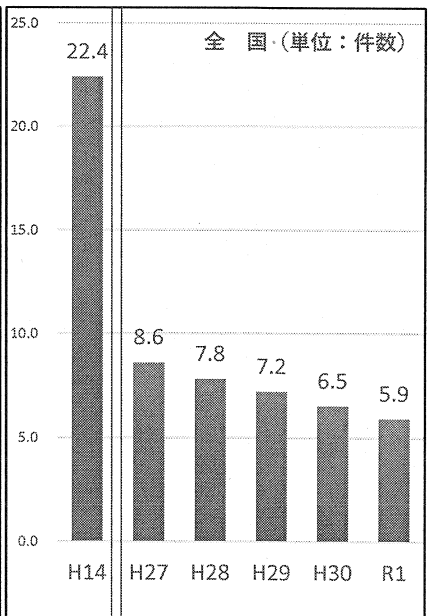
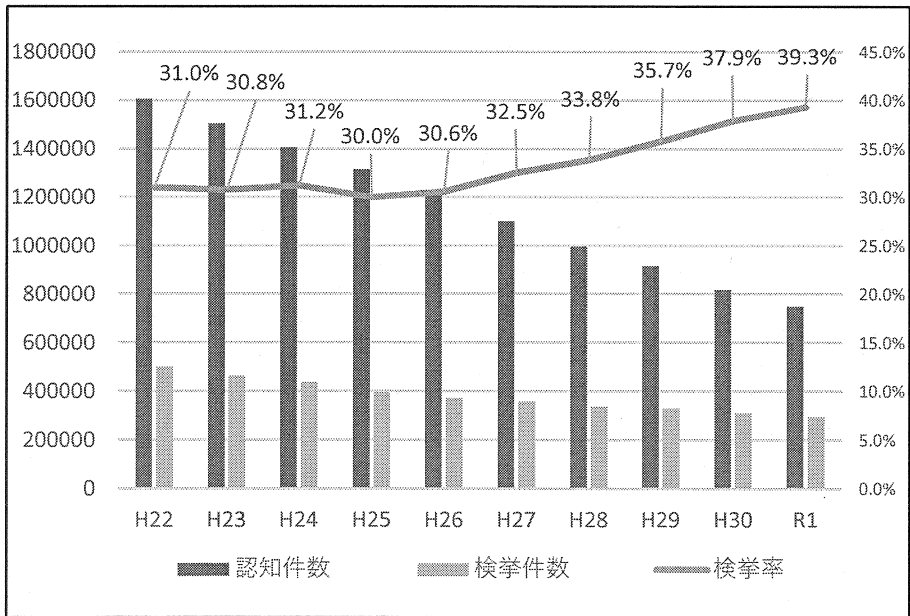


	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
認知件数	24,614	20,605	19,561	19,367	18,630	17,742	16,466	14,929	13,755	12,979
人口千人当たり	10.6	8.9	8.5	8.4	8.0	7.6	7.1	6.5	6.0	5.7
検挙件数	7,518	6,125	6,896	6,176	5,981	5,859	5,599	5,326	6,226	5,295
検挙率	30.5%	29.7%	35.3%	31.9%	32.1%	33.0%	34.0%	35.7%	45.3%	40.8%

※宮城県警察本部より

刑法犯認知件数の推移（全国）

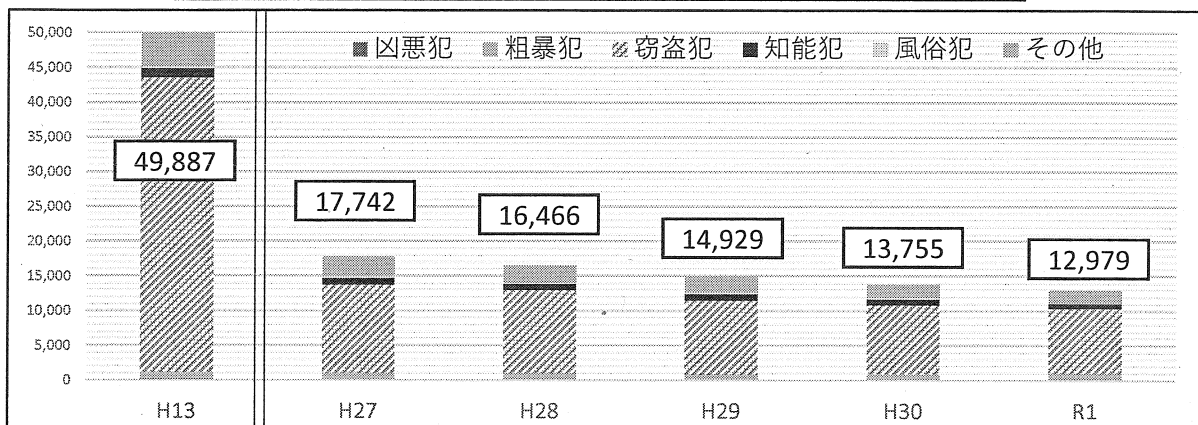
人口千人当たり発生件数



	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
認知件数	1,604,019	1,502,951	1,403,167	1,314,140	1,212,163	1,098,969	996,120	915,042	817,338	748,559
人口千人当たり	12.5	11.8	11.0	10.3	9.5	8.6	7.8	7.2	6.5	5.9
検挙件数	497,356	462,535	437,610	394,121	370,568	357,484	337,066	327,081	309,409	294,206
検挙率	31.0%	30.8%	31.2%	30.0%	30.6%	32.5%	33.8%	35.7%	37.9%	39.3%

※警察庁より

包括罪種別刑法犯認知件数の推移（宮城県）



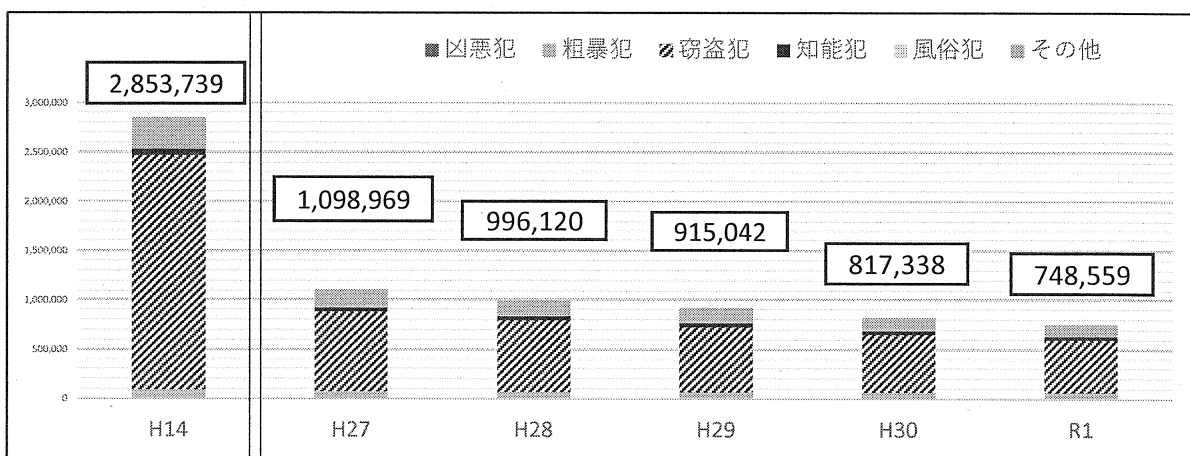
刑法犯罪種別推移	H13	H27	H28	H29	H30	R1	H13~R1減少率
凶悪犯	207	78	87	63	60	64	69%
粗暴犯	919	922	904	726	850	912	1%
窃盗犯	42,355	12,714	11,944	10,656	9,919	9,336	78%
知能犯	1,374	989	908	971	876	733	47%
風俗犯	231	229	165	191	178	150	35%
その他	4,801	2,810	2,458	2,322	1,872	1,784	63%
合計	49,887	17,742	16,466	14,929	13,755	12,979	74%

【包括罪種】 刑法犯を「凶悪犯」「粗暴犯」「窃盗犯」「知能犯」「風俗犯」「その他の刑法犯」の6種に分類したもの。

【凶悪犯】 殺人、強盗、放火、強制性交【粗暴犯】 暴行、傷害、脅迫、恐喝、凶器準備集合【窃盗犯】 窃盗

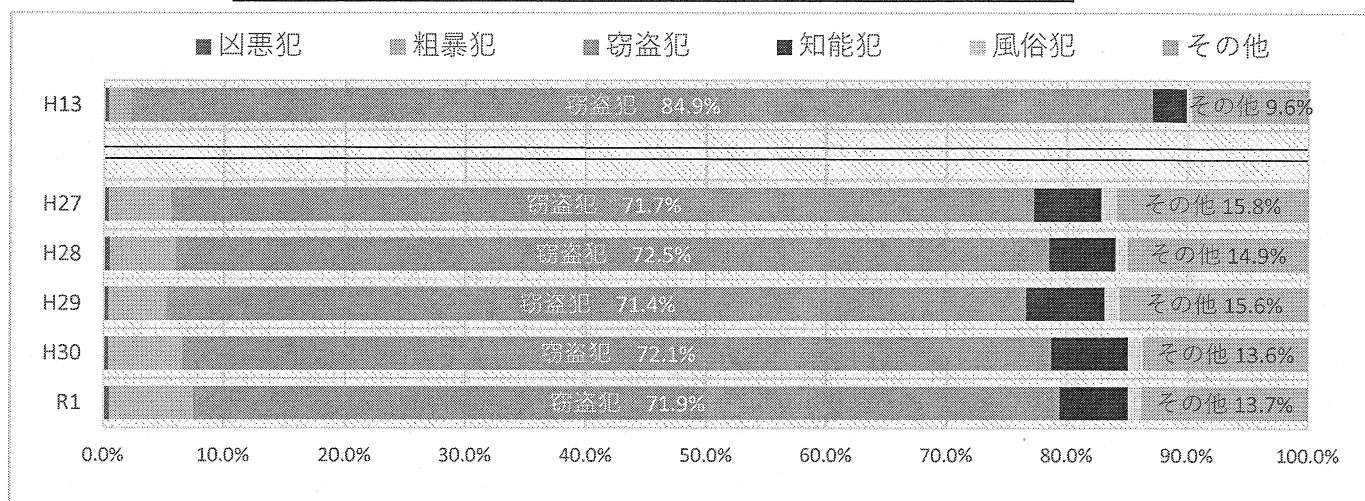
【知能犯】 詐欺、横領、偽造、汚職、背任など【風俗犯】 賭博、わいせつ【その他刑法犯】 公務執行妨害、住居侵入、逮捕監禁、器物損壊など

包括罪種別刑法犯認知件数の推移（全国）



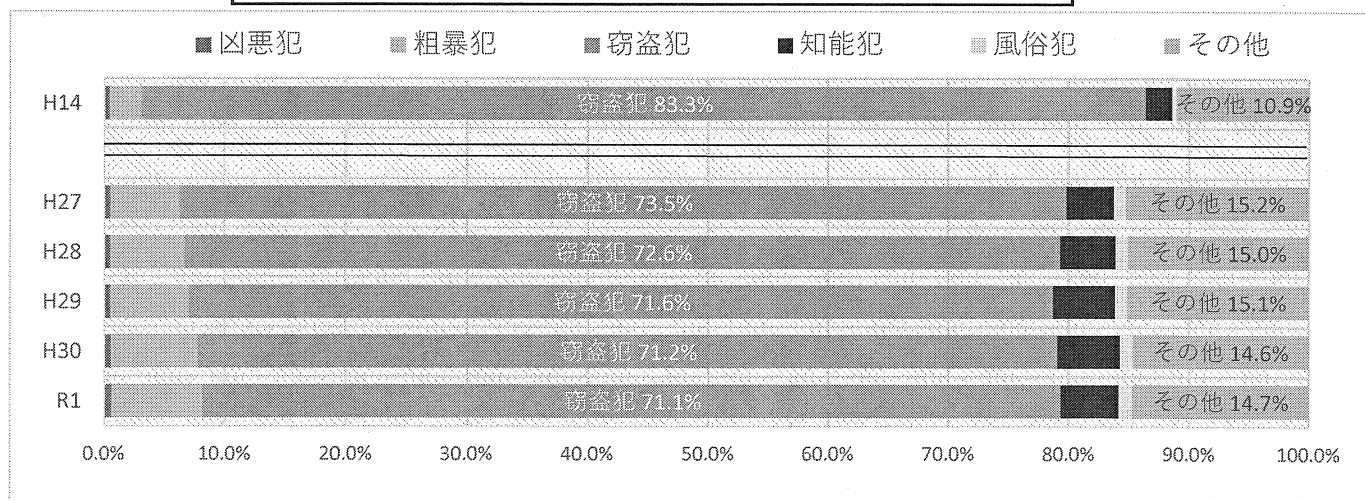
刑法犯罪種別推移	H14	H27	H28	H29	H30	R1	H14~R1減少率
凶悪犯	12,567	5,618	5,130	4,840	4,900	4,706	63%
粗暴犯	76,573	64,049	62,043	60,099	59,139	56,753	26%
窃盗犯	2,377,488	807,560	723,148	655,498	582,141	532,565	78%
知能犯	62,751	43,622	45,778	47,009	42,594	36,031	43%
風俗犯	12,220	11,032	10,385	9,699	9,112	8,710	29%
その他	312,140	167,088	149,636	137,897	119,452	109,794	65%
合計	2,853,739	1,098,969	996,120	915,042	817,338	748,559	74%

刑法犯認知件数の包括罪種別割合（宮城県）



	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他	計
H13	0.4%	1.8%	84.9%	2.8%	0.5%	9.6%	100%
H27	0.4%	5.2%	71.7%	5.6%	1.3%	15.8%	100%
H28	0.5%	5.5%	72.5%	5.5%	1.0%	14.9%	100%
H29	0.4%	4.9%	71.4%	6.5%	1.3%	15.6%	100%
H30	0.4%	6.2%	72.1%	6.4%	1.3%	13.6%	100%
R1	0.5%	7.0%	71.9%	5.6%	1.2%	13.7%	100%

刑法犯認知件数の包括罪種別割合（全国）



	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他	計
H14	0.4%	2.7%	83.3%	2.2%	0.4%	10.9%	100%
H27	0.5%	5.8%	73.5%	4.0%	1.0%	15.2%	100%
H28	0.5%	6.2%	72.6%	4.6%	1.0%	15.0%	100%
H29	0.5%	6.6%	71.6%	5.1%	1.1%	15.1%	100%
H30	0.6%	7.2%	71.2%	5.2%	1.1%	14.6%	100%
R1	0.6%	7.6%	71.1%	4.8%	1.2%	14.7%	100%

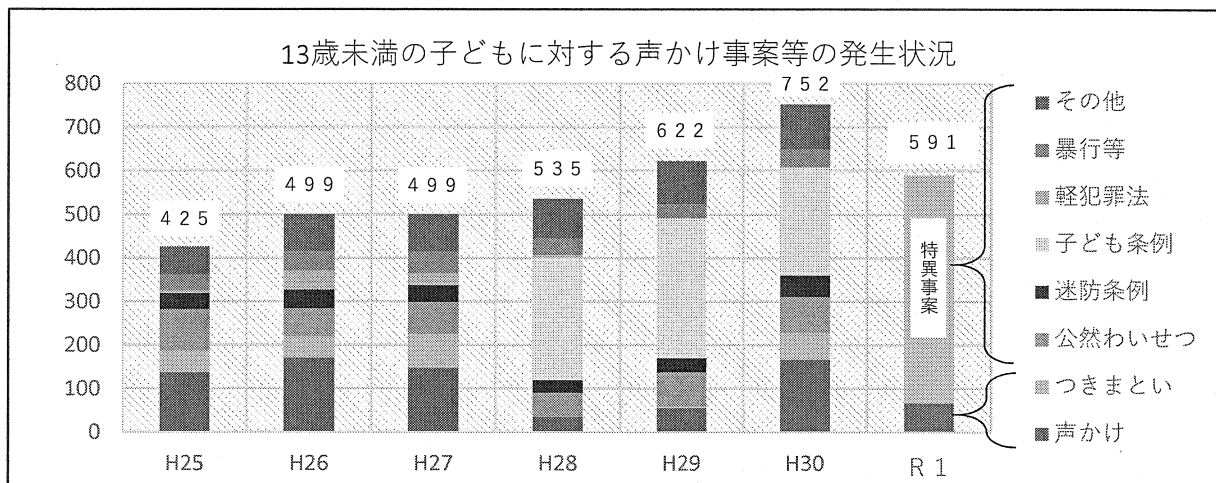
13歳未満の子どもに対する声かけ事案等の発生状況

	声かけ	つきまとい	公然わいせつ	迷防条例	子ども条例	軽犯罪法	暴行等	その他	合計	
H25	136	51	95	36	—	6	37	64	425	
H26	171	48	64	43	—	44	46	83	499	
H27	147	78	73	39	—	27	50	85	499	
H28	35	0	55	29	282	6	38	90	535	
H29	56	3	79	32	320	1	34	97	622	
H30	167	60	84	49	247	2	40	103	752	
R 1	66		525							591
	声かけ・つきまとい		特異事案（公わい・迷防・子ども条例・軽犯・暴行などの合計）							

※数値データ：宮城県警察本部より

※R 1から分類が「声かけ・つきまとい」と「特異事案」に変更されている。

※子ども条例は平成28年1月1日施行（令和元年の子ども条例違反は281件）



【用語の説明】

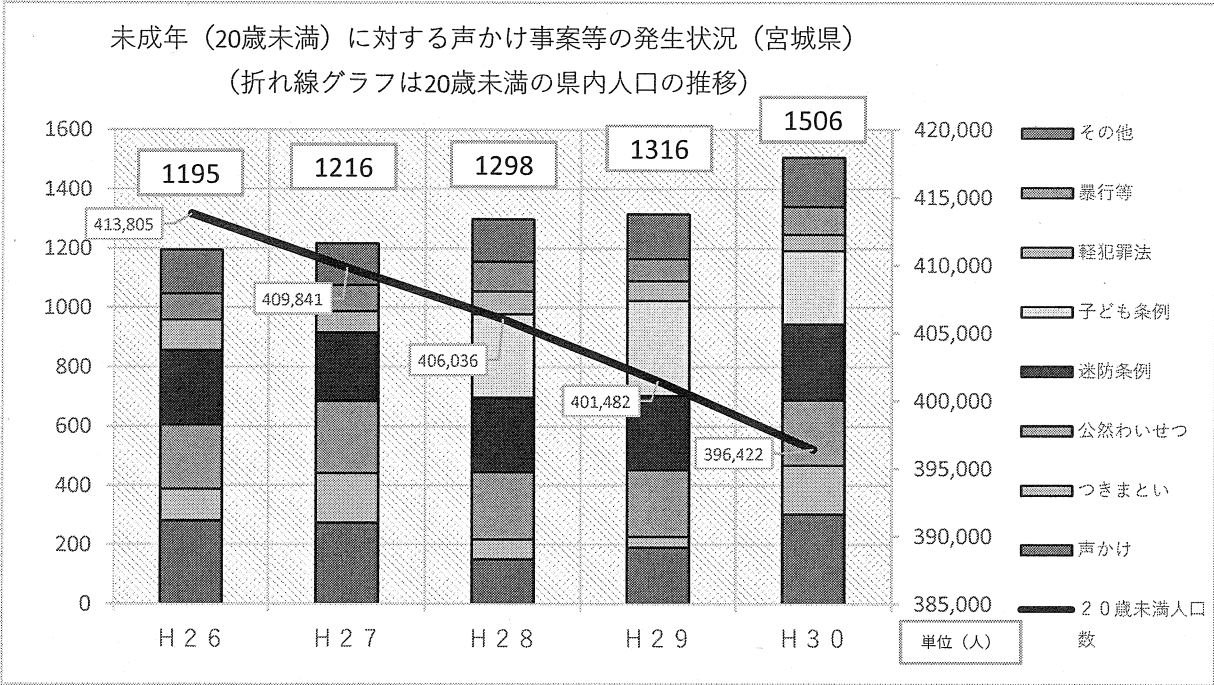
【声かけ】不安・困惑を覚えさせるような声かけ【つきまとい】正当な理由がないのに人につきまとう、立ちふさがり行為（声かけ・つきまといは平成28年以降は子ども条例に該当しない行為）【公然わいせつ】公共の場所などで公然と性器を露出するなどのわいせつ行為【迷防条例】公共の場所における卑わいな言動（性的な声かけ・痴漢）や、盗撮などの人に不安を覚えさせる行為【子ども条例】条例に規定する禁止行為（誘い出す声かけ・義務無き要求・乱暴言動・身体をつかむ・立ちふさがりつきまとう行為）【軽犯罪法】軽犯罪法第1条第28号に規定する「追隨行為」など

子ども被害の刑法犯認知件数

	H27	H28	H29	H30	R1
13歳未満	242	251	178	135	109
	1.4%	1.5%	1.2%	1.0%	0.8%
13歳以上	2,122	1,949	1,592	1,319	1,316
20歳未満	12.0%	11.8%	10.7%	9.6%	10.1%
20歳未満	2,364	2,200	1,770	1,454	1,425
合計	13.3%	13.4%	11.9%	10.6%	11.0%
20歳未満人口数人口数	409,841	406,036	401,482	396,422	390,873

※ 下段は全年代に占める比率

未成年（20歳未満）に対する声かけ事案等の発生状況



- 20歳未満の人口は減少しているものの、声かけ事案等の届出件数は増加傾向にある。
- 迷防条例違反（痴漢・盗撮など）の届出件数が多い。

	声かけ	つきまとい	公然わいせつ	迷防条例	子ども条例	軽犯罪法	暴行等	その他	合計
H26	281	107	217	251	—	102	89	148	1195
H27	274	167	243	231	—	73	88	140	1216
H28	151	67	227	251	282	77	100	143	1298
H29	190	37	226	250	320	67	75	151	1316
H30	303	165	220	256	247	55	94	166	1506

【主な声かけ事案等の発生例】

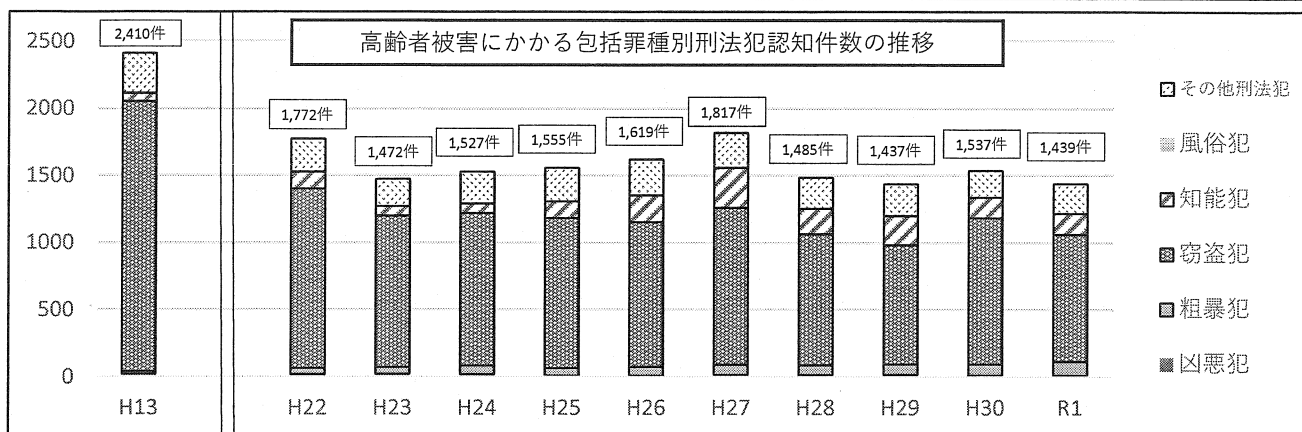
- 路上で自転車に乗った男が、すれ違いざまに女性の胸を触る（迷防条例違反）
- 路上で女子小学生に対し見知らぬ男が「住所教える」などと声をかける（子ども条例違反）
- 路上で出勤中の女性に対し、男が下半身を露出して腕をつかむ（公然わいせつ・暴行）

声かけ事案等の発生状況

事案発生率	H26	H27	H28	H29	H30
声かけ等事案件数	1,195	1,216	1,298	1,316	1,506
20歳未満の人口数	413,805	409,841	406,036	401,482	396,422
人口千人当たりの発生数	2.89	2.97	3.20	3.28	3.80

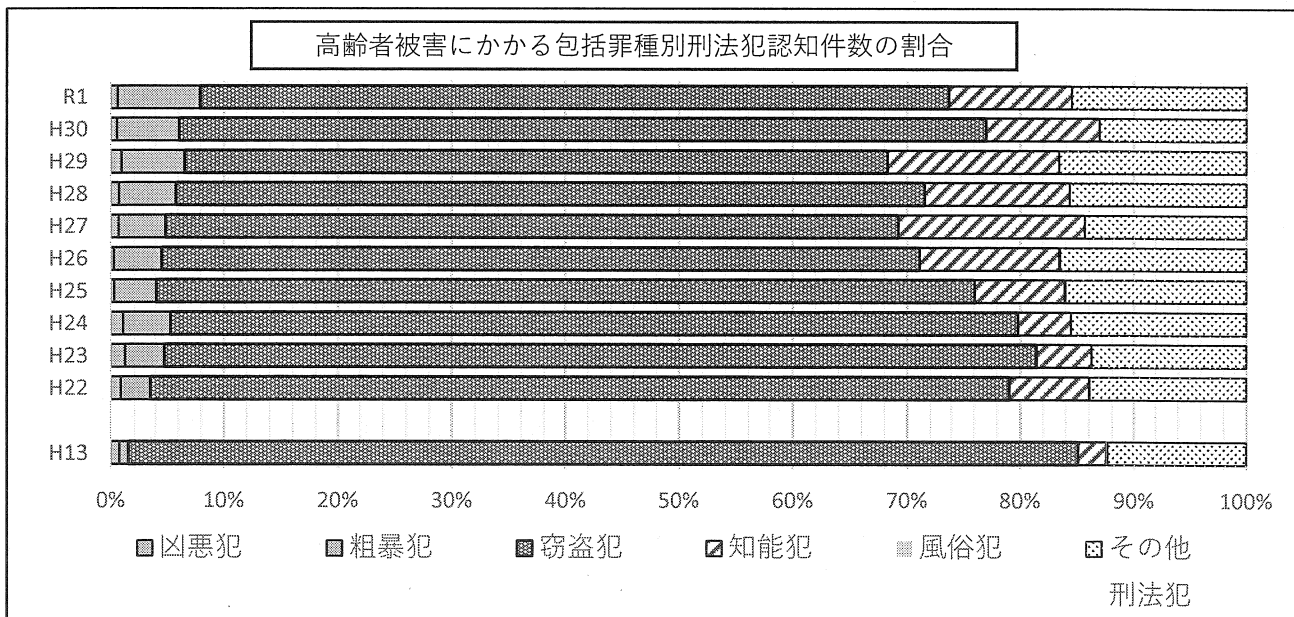
- 20歳未満人口千人当たりの声かけ事案等発生件数は、年々増加傾向にある。
- 子どもに対する「何かあったら知らせる」という防犯教育の浸透により、これまで潜在化していた件数が表面化していることも1つの増加要因と考えられる。

高齢者（65歳以上）被害にかかる包括罪種別刑法犯認知件数（宮城県）

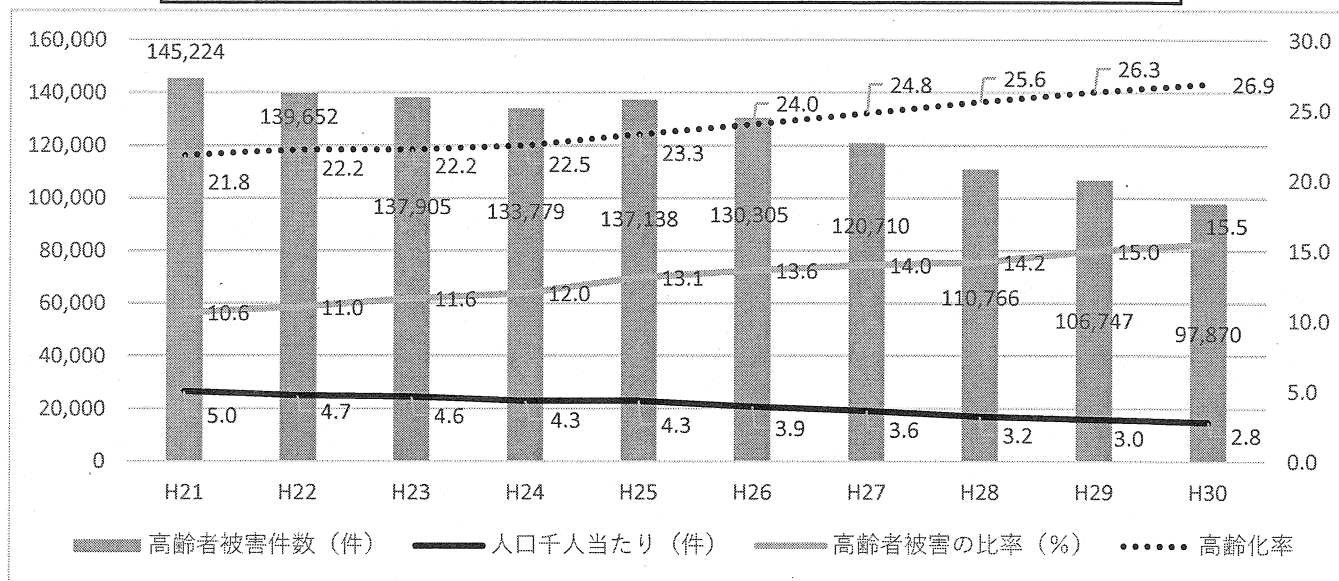


	H13	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
高齢者被害 刑法犯認知件数	2,410	1,772	1,472	1,527	1,555	1,619	1,817	1,485	1,437	1,537	1,439
凶悪犯	件数	19	16	19	17	5	5	13	11	14	9
	割合	0.8%	0.9%	1.3%	1.1%	0.3%	0.3%	0.7%	0.7%	1.0%	0.6%
	人口千人当たり（件）	0.04	0.03	0.04	0.03	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.01
粗暴犯	件数	19	46	51	64	58	68	75	75	80	105
	割合	0.8%	2.6%	3.5%	4.2%	3.7%	4.2%	4.1%	5.1%	5.6%	7.3%
	人口千人当たり（件）	0.04	0.09	0.10	0.12	0.11	0.12	0.13	0.13	0.13	0.14
窃盗犯	件数	2013	1339	1129	1138	1119	1079	1171	977	888	1091
	割合	83.5%	75.6%	76.7%	74.5%	72.0%	66.6%	64.4%	65.8%	61.8%	71.0%
	人口千人当たり（件）	4.55	2.59	2.19	2.20	2.08	1.94	2.03	1.65	1.46	1.76
知能犯	件数	59	124	71	71	123	199	298	190	217	153
	割合	2.4%	7.0%	4.8%	4.6%	7.9%	12.3%	16.4%	12.8%	15.1%	10.0%
	人口千人当たり（件）	0.13	0.24	0.14	0.14	0.23	0.36	0.52	0.32	0.36	0.25
風俗犯	件数	3	1	0	0	1	1	0	0	0	0
	割合	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	人口千人当たり（件）	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他 刑法犯	件数	297	246	202	237	249	267	260	232	238	200
	割合	12.3%	13.9%	13.7%	15.5%	16.0%	16.5%	14.3%	15.6%	16.6%	13.0%
	人口千人当たり（件）	0.67	0.48	0.39	0.46	0.46	0.48	0.45	0.39	0.39	0.32
宮城県高齢者人口数	442,448	516,790	514,994	517,925	537,634	557,347	576,141	593,630	606,851	619,555	629,559

刑法犯認知件数データ：県警察本部より 高齢者人口：長寿社会政策課より

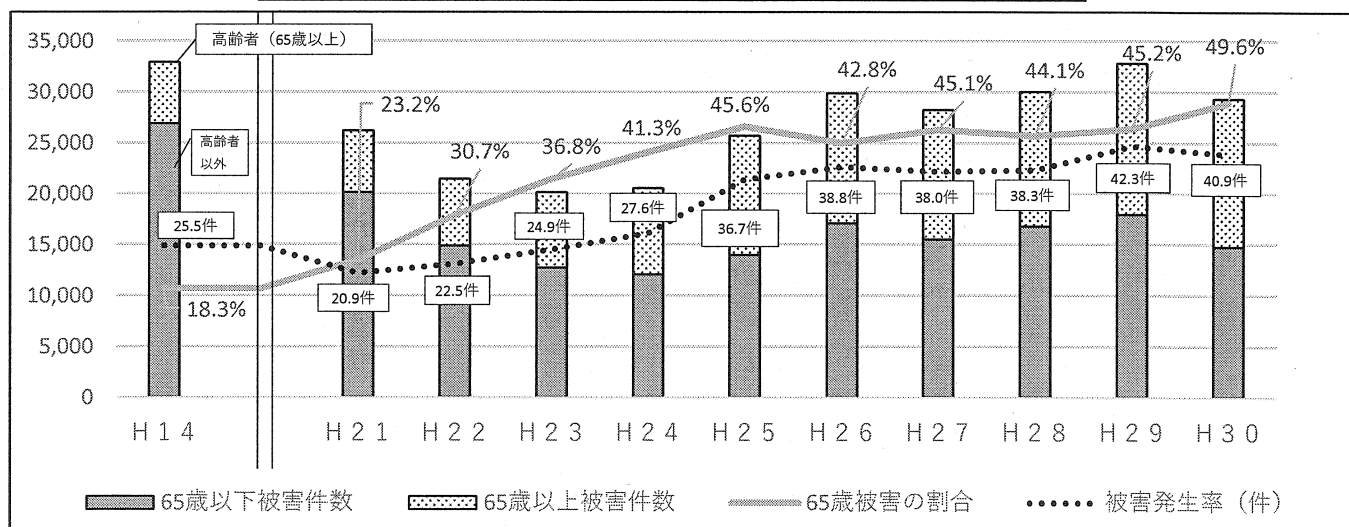


高齢者（65歳以上）被害の刑法犯認知件数の推移（全国）



	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
高齢者被害件数 (件)	145,224	139,652	137,905	133,779	137,138	130,305	120,710	110,766	106,747	97,870
高齢者人口千人当たり (件)	5.0	4.7	4.6	4.3	4.3	3.9	3.6	3.2	3.0	2.8
高齢者被害の割合 (%)	10.6	11.0	11.6	12.0	13.1	13.6	14.0	14.2	15.0	15.5
高齢化率 (宮城県内)	21.8	22.2	22.2	22.5	23.3	24.0	24.8	25.6	26.3	26.9

高齢者（65歳以上）の詐欺罪被害状況（全国）



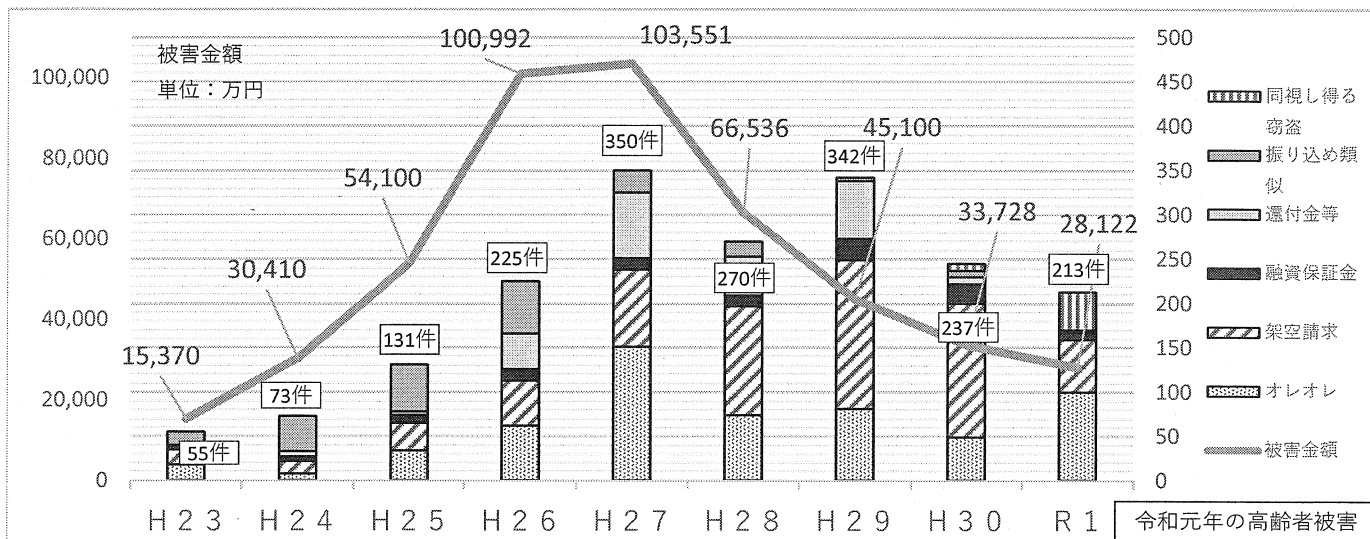
	H14	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
65歳以下被害件数	26,901	20,141	14,877	12,723	12,070	13,983	17,082	15,520	16,810	17,974	14,791
65歳以上被害件数	6,024	6,075	6,590	7,410	8,488	11,721	12,798	12,725	13,236	14,854	14,555
全年齢合計	32,925	26,216	21,467	20,133	20,558	25,704	29,880	28,245	30,046	32,828	29,346
高齢者被害の割合	18.3%	23.2%	30.7%	36.8%	41.3%	45.6%	42.8%	45.1%	44.1%	45.2%	49.6%
高齢者被害発生率 (件)	25.5	20.9	22.5	24.9	27.6	36.7	38.8	38.0	38.3	42.3	40.9

※警察庁の統計及び総務省統計局の人口資料より

※「被害の割合」は、認知件数の全年齢被害に占める高齢者（65歳以上）の割合をいう。

※「被害発生率」は、人口10万人当たりの認知件数をいう。

特殊詐欺被害状況の推移（宮城県）



	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	令和元年の高齢者被害	被害件数	割合
オレオレ	18	8	34	62	151	74	81	49	100	オレオレ	94	94%
架空請求	17	14	31	51	87	123	168	151	59	架空請求	21	36%
融資保証金	5	5	9	13	13	12	24	22	8	融資保証金	3	38%
還付金等	0	6	4	40	74	44	65	8	0	還付金等	0	0%
振り込み類似	15	40	53	59	25	17	4	7	3	振り込み類似	1	33%
同視し得る窃盗	0	0	0	0	0	0	0	0	43	同視し得る窃盗	38	88%
認知件数	55	73	131	225	350	270	342	237	213	認知件数	157	74%
被害金額	15,370	30,410	54,100	100,992	103,551	66,536	45,100	33,728	28,122	被害金額	24631	88%

※同視し得る窃盗・・・オレオレ詐欺と同様の手口で被害者と接触し、キャッシュカード等を封筒に入れさせ、隙を見て別の封筒にすり替えて被害者のキャッシュカードを持ち去るといった特殊詐欺の手口（罪名は窃盗罪）

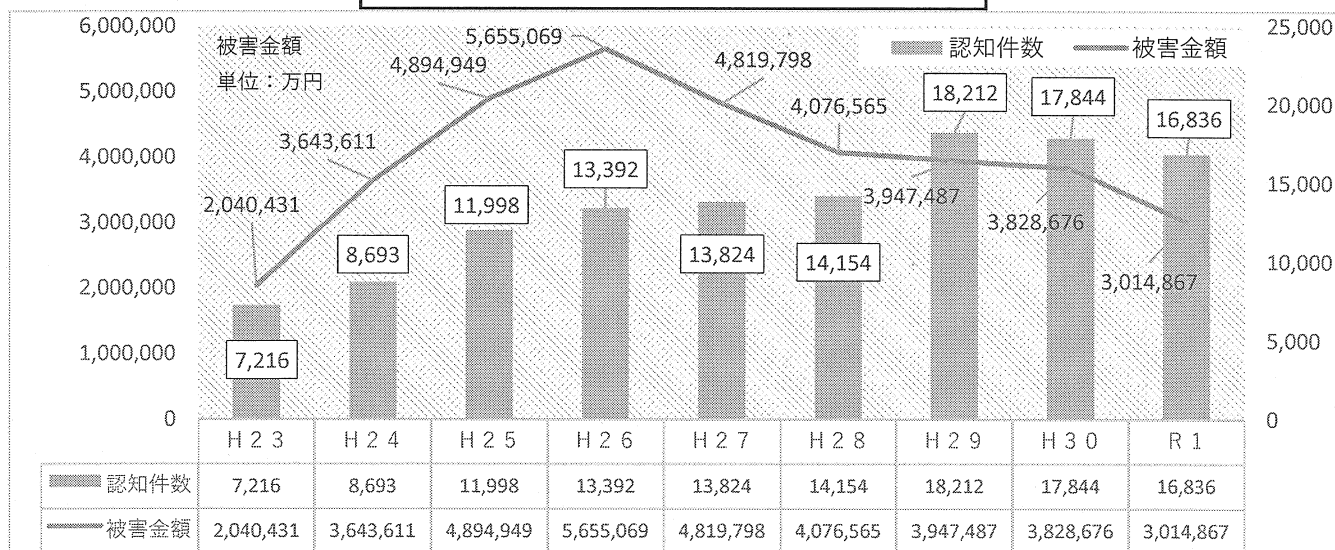
※同視し得る窃盗は平成30年から発生が確認されていましたが、統計上平成30年の特殊詐欺被害件数・金額に計上はされていません。

（平成30年中の同視し得る窃盗の発生件数は県内で8件、約1974万円の被害）

※特殊詐欺被害のうち、高齢者が被害者の割合はH27年70%、H28年58%、H29年51%、H30年41%、R1年74%となっている。

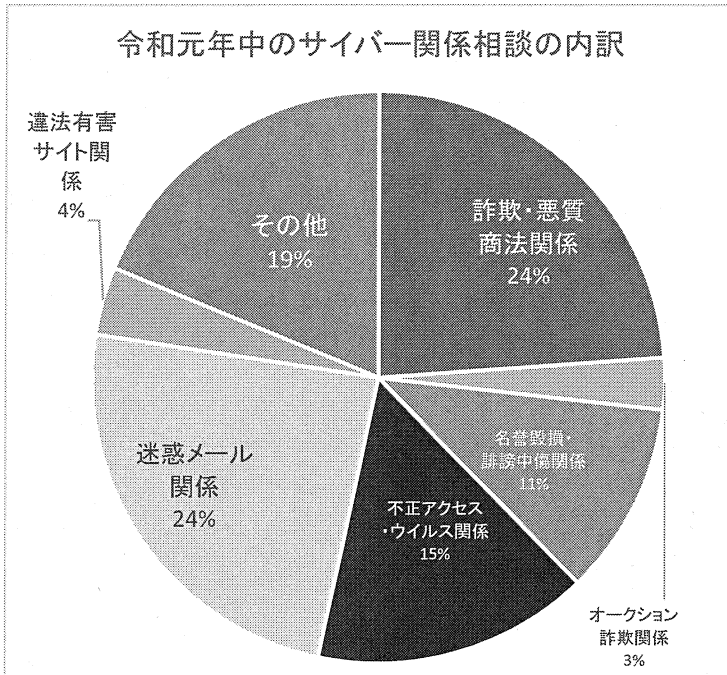
○数値データ：宮城県警察本部より

特殊詐欺被害状況の推移（全国）



※数値データ：警察庁より

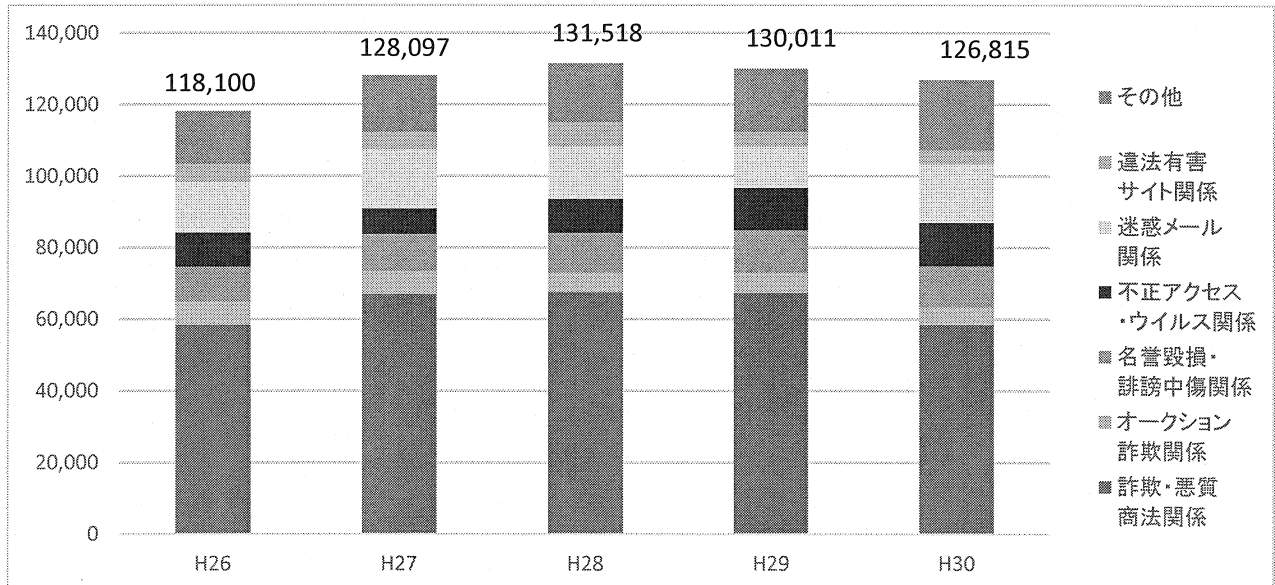
サイバー関係相談件数の状況(宮城県)



内容	平成30年	令和元年	増減
総件数	2,002	2,292	290
詐欺・悪質商法関係	581	547	-34
オークション詐欺関係	130	67	-63
名譽毀損・誹謗中傷関係	244	250	6
不正アクセス・ウイルス関係	274	359	85
迷惑メール関係	354	552	198
違法有害サイト関係	80	88	8
その他	339	429	90

※宮城県警察サイバー犯罪対策課より

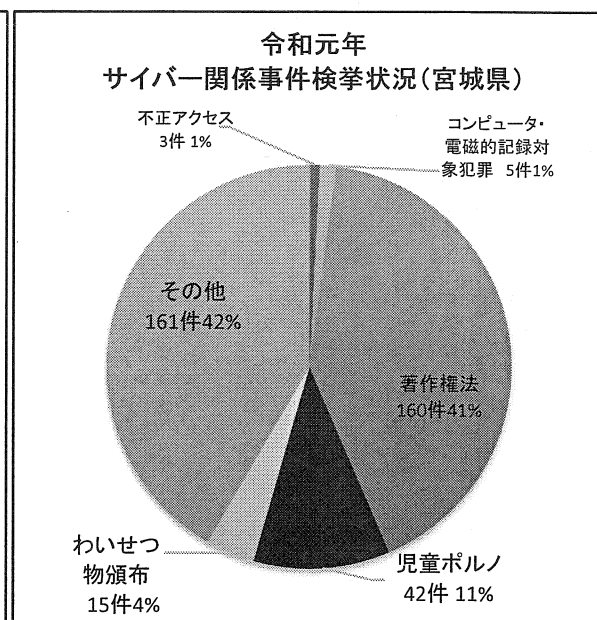
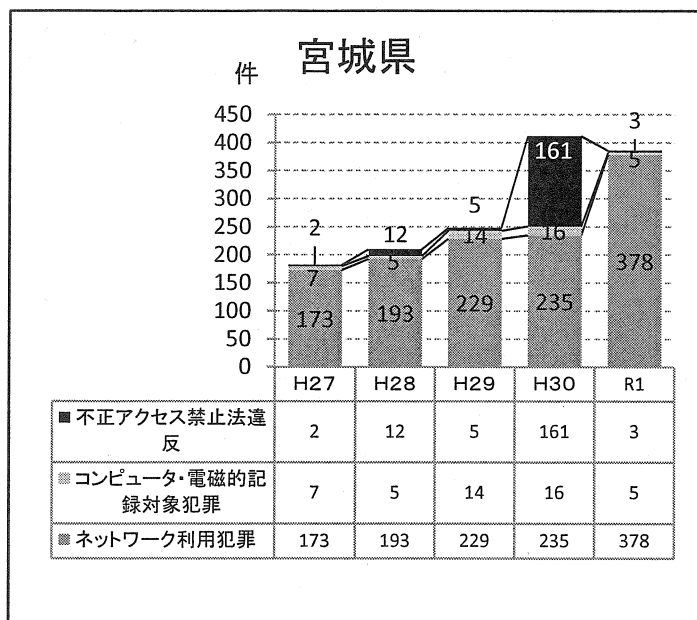
サイバー関係相談件数の状況(全国)



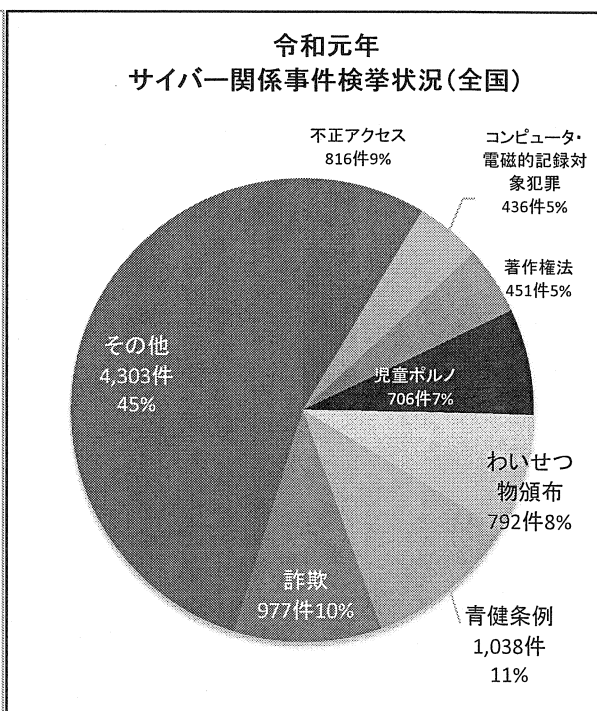
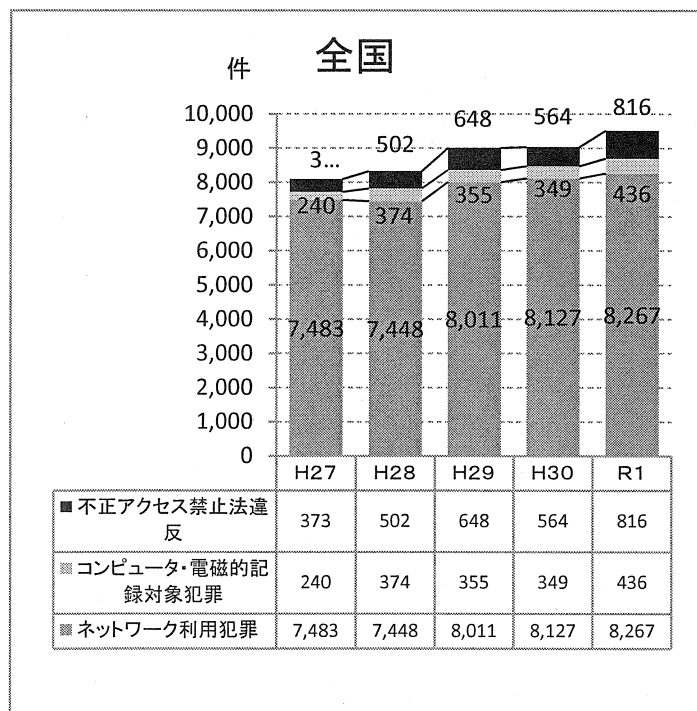
	H26	H27	H28	H29	H30
総件数	118,100	128,097	131,518	130,011	126,815
詐欺・悪質商法関係	58,340	67,026	67,480	67,268	58,477
オークション詐欺関係	6,545	6,274	5,440	5,771	4,883
名譽毀損・誹謗中傷関係	9,757	10,398	11,136	11,749	11,406
不正アクセス・ウイルス関係	9,550	7,089	9,530	11,936	12,113
迷惑メール関係	14,185	16,634	14,583	11,511	16,465
違法有害サイト関係	5,080	4,854	6,913	4,024	3,879
その他	14,643	15,822	16,436	17,752	19,592

※警察庁広報資料より

サイバー犯罪の検挙件数の推移状況



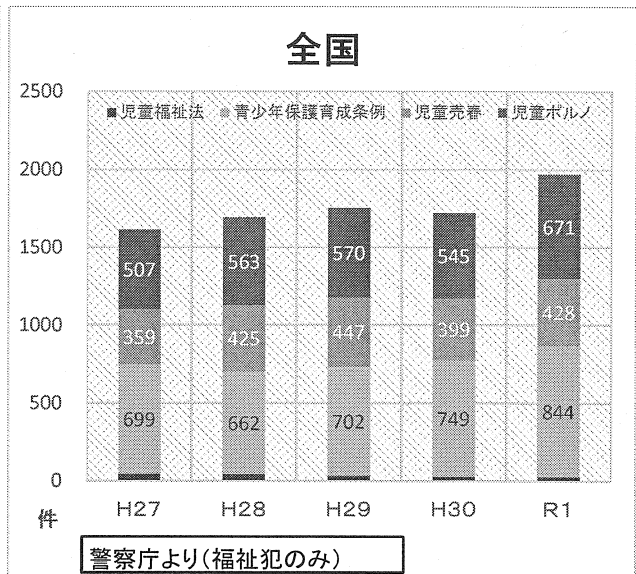
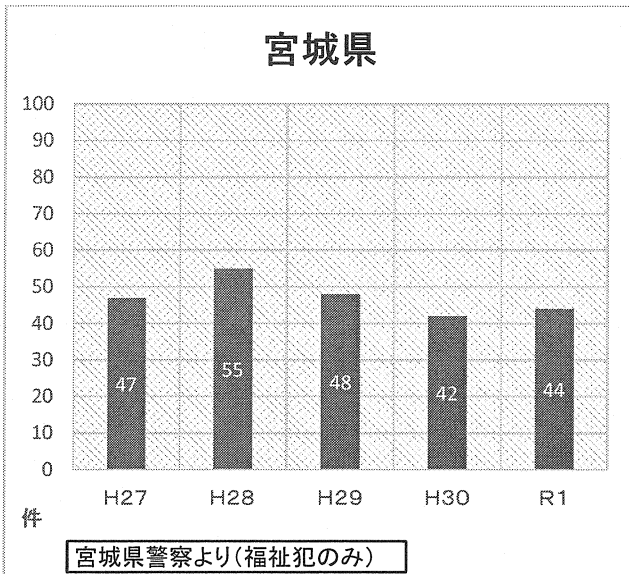
※ 数値データ: 宮城県警察本部より



※ 数値データ: 警察庁より

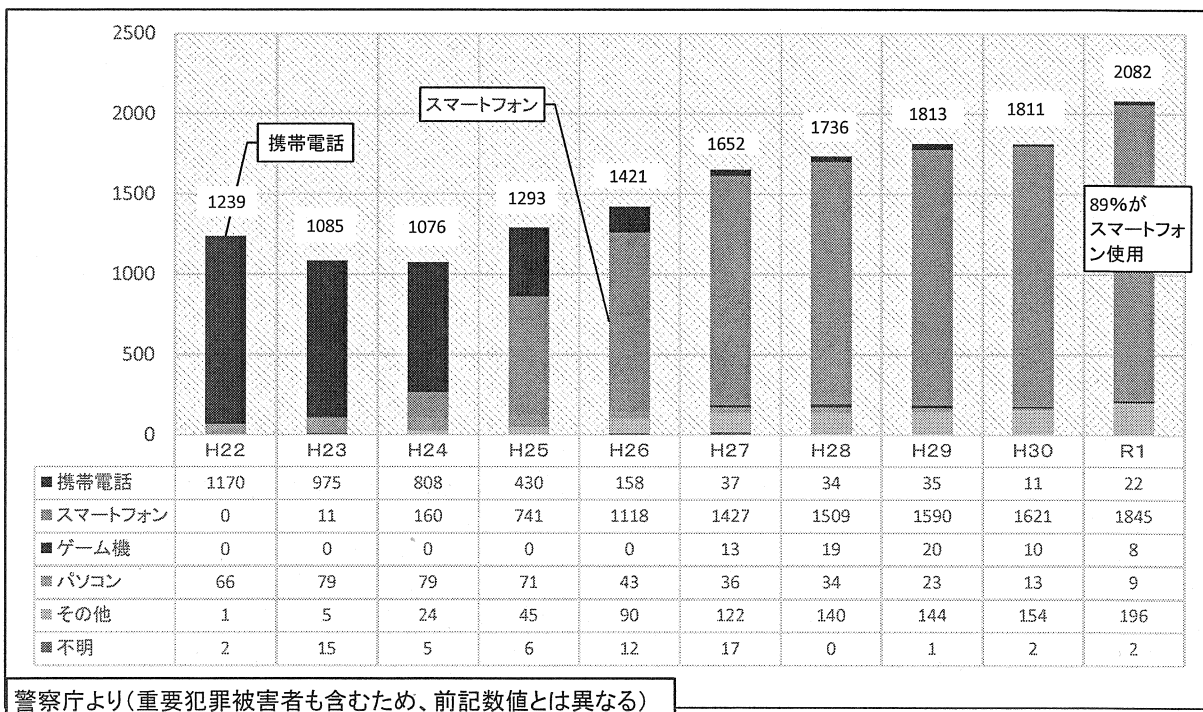
- ※ 不正アクセス禁止法違反: 他人のIDやパスワードを利用することなどにより、コンピュータに不正にアクセスする行為など
- ※ コンピュータ・電磁的記録対象犯罪: コンピューターに不正な指令を与えて、他人の口座から自分の口座に預金を移す行為など
- ※ ネットワーク利用犯罪: インターネットを利用した詐欺などの刑法犯罪や児童買春、児童ポルノの頒布など

SNSに起因する事犯の被害児童数



注: 県の罪名ごとの件数は公表されていません。

SNSに起因する事犯の被害児童のアクセス手段(全国)



SNSに起因する事犯の被害児童のフィルタリング利用率(全国: 警察庁より)

フィルタリング	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
利用あり	28	49	35	33	34	40	173	130	187	232
利用なし	790	546	472	593	691	724	1,292	1,410	1,372	1,490
利用率	3%	8%	7%	5%	5%	5%	12%	8%	12%	13%

青少年のインターネット利用状況(全国: 内閣府より)

インターネット普及率	インターネット利用		スマートフォン使用	
	H27	R1	H27	R1
小学生	61.3%	86.3%	19.4%	49.8%
中学生	80.3%	95.1%	42.7%	75.2%
高校生	97.7%	99.1%	92.3%	97.1%
全体	79.7%	93.2%	50.4%	72.6%

(青少年のインターネット利用環境実態調査)